

女性消防士について

メンバー

持田梨貴 草薨佑玖 長根尚樹 佐藤翔

課題

女性消防職員の増加について、全国における女性消防職員は増加傾向にあるが、割合は2,9%とまだまだ少ない状況で、酒田市では今年度1名の女性消防職員が誕生したが、国が示す女性消防職員の割合である職員総数の5%（約10名）にはまだまだ届かない現状。そこで女性消防職員が増えない要因や、増やすための解決方法を検討していく。

現状

- ▶ 平成29年度の女性消防員の割合は2,6%。



警察官や自衛隊などに比べて女性の割合が少ない。

- ・ 消防本部は男性が圧倒的多数を占める現状は問題ではないとされている。しかし、防災力の低下が懸念される中、災害に対応するためには、これまで以上に自助、共助、公助が一体となって地域防災力を発揮する必要がある。

女性消防士が必要とされる理由

(1) 住民サービスの向上

女性を含めた多様な経験を有する職員が住民サービスを提供することによって、子どもや高齢者、災害時の要支援者など、様々な住民への対応力が向上し住民サービスの質が向上する。

(2) 消防組織の活性化

多様な視点で、ものごとを捉える組織風土、育児・介護などそれぞれ異なる事情を組織や同僚が理解し、支援する組織風土が醸成されることにより、組織の活性化、組織力の強化、士気の向上。

(3) 優秀な人材の確保

公務員受験者の減少、また今後の少子化等に際して女性受験者の増加による受験者全体数と選考倍率を確保することで、将来にわたって優秀な人材の確保に向けた体制が図れる。

女性活躍推進の考え方

- 1、適材適所を原則とした職域の拡大
- 2、女性消防し吏員比率の増加
- 3、消防本部トップの意識改
- 4、ライフステージに応じた様々な配慮の必要性



4つが軸となっている

過去の取り組み

- ・ポスター作成
- ・各種セミナーの開催
- ・受験資格の緩和など



女性消防士増加の取り組みを行っていない市町村や自治体がある。また、女性を受け入れる体制が整っていない施設も存在する

私達の考える一つの流れ

1、正しい情報を普及させることで女性に消防について興味をもってもらう。



2、SNSのアカウントを作成し、講演会やポスターで広報する。



3、各種SNSを利用し、情報を共有する。

(女性消防士が実際に活動している内容の動画をあげる)



4、消防に興味を持つ人が増えて、採用試験を受けようとする人が増える。

SMSのメリットとデメリット

<メリット>

- ・ たくさんの人に情報がいきわたる
- ・ 簡単に情報が手に入る

<デメリット>

- ・ 適切な動画投稿をしなければならない
- ・ 口コミから思わぬ不評につながる危険

INSTAGRAM

<メリット>

- ・ユーザーが多い
- ・若い世代に注目されやすいため
- ・ハッシュタグでの話題性

<デメリット>

- ・拡散性が低い、共有されにくい
- ・他の人に見てもらおうまでに時間を要する

TWITTER

<メリット>

- ・情報の共有が早い、拡散しやすい
- ・フォロー関係になくても情報が渡る

<デメリット>

- ・文字数の制限がある
- ・過去の投稿を検索しても見つけづらく、振り返りの面では適していない

TIKTOK

<メリット>

- ・コメントが簡単にできる
- ・交流が多い

<デメリット>

- ・批判が多いため限界がある
- ・著作権に反する危険性が高い

YOUTUBE

<メリット>

- ・手軽に見ることができる
- ・資金調達にもつながるため、他の取り組みにも力を入れることができる

<デメリット>

- ・初期費用の準備が必要（機材等）
- ・編集に時間を使うため、職務が増える

まとめ

- ・各SNSのメリットとデメリットを上手く活用しながら使うことが大切だと考える。
- ・消防士の魅力を伝えることが消防士を増やすための解決策となると考える。
- ・消防署も女性を受け入れるための施設や体制を整えることが大切だと考える。